

斜里町の人事と給与・定員管理等について

斜里町職員の給与、採用、服務や勤務条件などの状況を紹介します。

町職員の給与は、その職務に応じた給料と扶養手当及び通勤手当等諸手当で構成され、給料や諸手当の内容は、国や他の地方公共団体との均衡を考慮し、町議会の議決を経て決められ、「斜里町職員の給与に関する条例」に基づき支給されています。

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (22年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
22年度	12,634	8,898,782	257,491	1,389,194	15.6	16.5

(注) 人件費には、職員に支払う給与の他、共済費、退職手当負担金、特別職給与、町議会議員、各種委員の報酬等が含まれています。

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

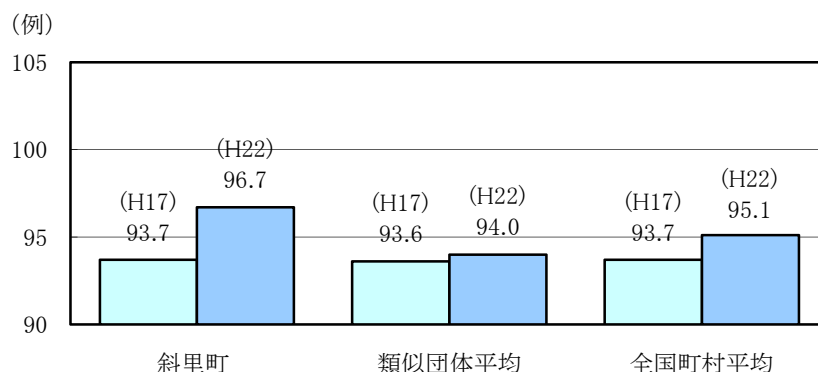
区分	職員数 A	給与			費計 B	一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
		千円	千円	千円	千円	千円
22年度	134	495,007	81,711	165,341	742,059	5,538

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

(3) 特記事項

平成16年度から期末手当の役職加算を凍結しています。

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

2 一般行政職給料表の状況（平成23年4月1日現在）

(単位：円)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号級の給料月額	135,600円	185,800円	222,900円	261,900円	289,200円	320,600円
最高号級の給料月額	243,700円	309,200円	356,400円	390,100円	402,500円	424,600円

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（23年4月1日現在）

※国及び類似団体の数値は、平成22年度の数値となっています。

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 国ベース
斜里町	41.9 歳	316,500 円	405,900 円	344,940 円
北海道	44.9 歳	328,099 円	396,514 円	375,024 円
国	41.9 歳	325,579 円	- 円	395,666 円
類似団体	43.7 歳	320,902 円	359,746 円	347,629 円

(2) 職員の初任給の状況（23年4月1日現在）

区分		斜里町		国	
		初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料
一般行政職	大学卒	172,200 円	184,200 円	172,200 円	184,200 円
	高校卒	140,100 円	148,500 円	140,100 円	148,500 円
技能労務職	高校卒	- 円	- 円	- 円	- 円
	中学卒	- 円	- 円	- 円	- 円
教育職	大学卒	- 円	- 円	- 円	- 円
	高校卒	- 円	- 円	- 円	- 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（23年4月1日現在）

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	229,300 円	273,925 円	316,600 円
	高校卒	- 円	236,100 円	283,183 円
技能労務職	高校卒	- 円	- 円	- 円
	中学卒	- 円	- 円	- 円
教育職	大学卒	- 円	- 円	- 円
	高校卒	- 円	- 円	- 円

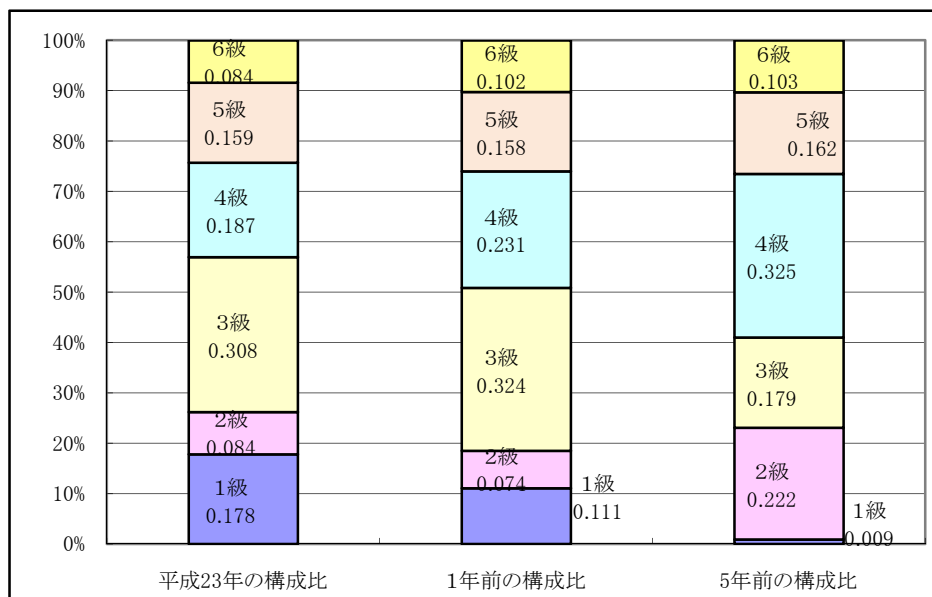
4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（23年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	係員	19 人	17.8 %
2 級	係員	9 人	8.4 %
3 級	主任・係長	33 人	30.8 %
4 級	主任・係長・主幹	20 人	18.7 %
5 級	主幹・参事・課長	17 人	15.9 %
6 級	課長・部長	9 人	8.4 %

(注) 1 斜里町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給期間短縮の状況

区分	全職種	
23年度	職員数 A	107 人
	普通昇給期間（12～24月）を短縮して昇給した職員数 B	0 人
	比率 B/A	0.0 %
22年度	職員数 A	108 人
	普通昇給期間（12～24月）を短縮して昇給した職員数 B	0 人
	比率 B/A	0.0 %

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

斜里町	国
1人当たり平均支給額（22年度） 1,345 千円	—
(22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.5) 月分 (0.6) 月分	(22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45) 月分 (0.65) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 無 ・管理職加算 無	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

(2) 退職手当 (23年4月1日現在)

斜 里 町			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例加算措置 (2%~20%)		その他の加算措置	定年前早期退職特例加算措置 (2%~20%)	
(退職時特別昇給)	なし				
1人当たり平均支給額	23,641 千円				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当 (23年4月1日現在)

支給実績 (22年度決算)		0 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)		0 千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度 (支給率)
なし	%	- 人	- %

(4) 特殊勤務手当 (23年4月1日現在)

支給実績 (22年度決算)		16,347 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)		806,400 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合 (22年度)		15.72 %	
手当の種類 (手当数)		6	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
衛生業務手当	看護師・介護福祉士等	診療X線撮影の照射介助に従事した職員	日額300円
行旅死亡人等取扱手当	一般行政職等	行旅死亡人及び行旅傷病人の取扱をした職員	日額3,000円
精神病患者移送手当	一般行政職等	精神病患者の移送及び収容事務に従事した職員	日額2,000円
救急患者移送手当	看護師	医師の指示により救急患者の移送に従事した看護	日額2,000円
研修手当	医師	専門的に研修を必要とする業務に従事する職員	月額300,000円~500,000円
夜間看護業務手当	看護師	深夜における入院患者の看護に従事する職員	1回当たり2,000円~6,800円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (22年度決算)	52,928 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)	233 千円
支給実績 (21年度決算)	52,320 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (21年度決算)	228 千円

(6) その他の手当 (23年4月1日現在)

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (22年度決算)
扶養手当	配偶者及び子等 月額5,000円～13,000円	同じ		20,453 千円	191,150 円
住居手当	・貸家月額12,000円を超える家賃を払っている場合支給 ・持家月額5,000円を支給	異なる	持家支給額 斜里町 5,000円 (国は無し)	18,761 千円	153,779 円
通勤手当	通勤距離が片道2キロメートル以上の職員 月額2,000円～24,500円	同じ		1,252 千円	35,771 円
管理職手当	部長職 月額44,000円 課長職 月額33,000円	異なる	定額	18,864 千円	524,000 円
寒冷地手当	寒冷地域勤務者に対し11月～3月の5か月間支給 月額10,340円～26,380円	同じ		21,889 千円	104,233 円
特地手当	ウトロ以東の地域勤務者に対し支給 (10%)	異なる	支給率 国20% 斜里町10%	1,069 千円	534,500 円

6 特別職の報酬等の状況 (23年4月1日現在)

区 分		給 料		月 額		等	
給料	町 長	(抑制前の支給額)		(参考) 道内類似団体における最高/最低			
		385,000	(770,000円)	円	883,000 円 /	700,000 円	
副 町 長	579,500	(610,000円)	円	703,000 円 /	580,000 円		
	報酬	議 長	291,000	円	309,000 円 /	252,000 円	
副 議 長		234,000	円	244,000 円 /	205,000 円		
議 員		190,000	円	205,000 円 /	170,000 円		
期末手当	町 長	(22年度支給割合)					
	副 町 長	3.90	月分				
退職手当	議 長	(22年度支給割合)					
	副 議 長	3.90	月分				
	議 員						
退職手当	町 長	(算定方式)		(支給時期)			
	副 町 長	給料月額×5.126月×4年			任期毎		
		給料月額×3.234月×4年			任期毎		

7 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

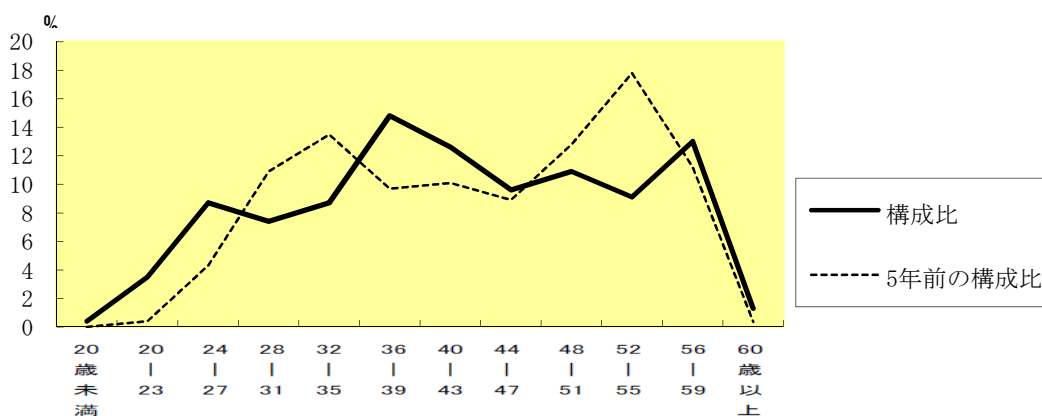
部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成22年	平成23年		
一 般 行 政 部 門	議 会	3	3	0	部付休職者の退職による減 部門の区分変更による増
	総 務	31	30	-1	
	税 務	9	9	0	
	農 林 水 産	12	12	0	
	商 工	7	7	0	
	土 木	12	12	0	
	民 生	31	36	5	
衛 生	21	21	0		
	小 計	126	130	4	<参考>人口1万人当たりの職員数 103人 (類似団体の職員数 93.26人)
特 別 行 政 部 門	教 育	35	34	-1	一般退職による減
	小 計	35	34	-1	<参考>人口1万人当たりの職員数 27人 (類似団体の職員数 19.41人)
公 営 企 業 計 等 部 門	病 院	57	57	0	部門の区分変更による減
	水 道	4	4	0	
	下 水 道	2	2	0	
	その他	9	3	-6	
	小 計	72	66	-6	
合 計		233 [238]	230 [238]	-3	<参考>人口1万人当たりの職員数 182人

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 []内は、条例定数の合計です。

3 職員数には、常勤の非常勤職員も含むが、条例定数には常勤の非常勤職員は含まない。

(2) 年齢別職員構成の状況 (23年4月1日現在)



区 分	20歳 未満	20歳) 23歳	24歳) 27歳	28歳) 31歳	32歳) 35歳	36歳) 39歳	40歳) 43歳	44歳) 47歳	48歳) 51歳	52歳) 55歳	56歳) 59歳	60歳 以上	計
職員数	1人	8人	20人	17人	20人	34人	29人	22人	25人	21人	30人	3人	230人

(3) 職員数の推移

年度 部門別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	過去5年間の増減数（率）
一般行政	151	136	135	128	126	130	△ 21（△ 13.9 %）
教育	41	40	38	35	35	34	△ 7（△ 17.1 %）
消防							（ %）
普通会計計	192	176	173	163	161	164	△ 28（△ 14.6 %）
公営企業等会計	66	66	66	71	72	66	0（0.0 %）
総合計	258	242	239	234	233	230	△ 28（△ 10.9 %）

（注）各年における定員管理調査において報告した部門別職員数です。

(4) 職員の退職状況（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

定年・勲奨	自己都合	任期満了等	計
12人	6人	0人	18人

(5) 職員の採用、退職状況（平成23年4月1日現在）

（採用状況）

年度	区分	職種	採用者数
23年度	試験採用	一般行政	5人
	独自試験等	保健医療福祉職	11人

8 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

（勤務時間・休日）

勤務時間	8時45分から17時30分
休日	① 国民の祝日
	② 年末年始（12月31日から翌年の1月5日）
週休日	土・日曜日

（休暇制度）

休暇名	付与日数	概要
年次有給休暇	1年度の付与20日	翌年度に限り20日を限度に繰越が可能 平成22年の年次有給休暇の平均取得日数は6.9日です。
病気休暇	必要と認められる期間 （1年以内）	疾病・負傷で療養の必要があり、勤務しないことが止むを得ないと認められた場合の休暇
特別休暇	それぞれの休暇内容により必要日数（時間）が決められています。	産前産後休暇、服喪休暇、結婚・出産休暇、生理休暇、夏期休暇の他、家族の看護、証人・参考人として裁判所に出頭する場合、ドナーとなる場合等の休暇もあります。
介護休暇	必要と認められる期間 （6ヶ月以内）	配偶者や父母など病気などにより介護を必要とする場合に休暇（無給）

9 職員の分限及び懲戒の状況

分限処分とは、心身の故障などで職務が十分に果たせない場合などに公務能率の維持を目的に行う処分、懲戒処分は、地方公務員法等に違反した場合や職務上の義務違反などに対して秩序維持を図るために行う処分です。

分限・懲戒処分の状況（平成22年4月1日～23年3月31日）

分限処分者数	降任	免職	休職		計
					0人
懲戒処分者数	戒告	減給	停職	免職	計
		1人	1人		2人

10 職員の服務に関する状況

町民の疑惑や不信を招くことのないよう倫理保持及び交通安全などについて機会あるごとに職員に注意を喚起し、服務規律保持を図っています。

11 職員の研修等に関する状況

職員研修については、毎年度研修計画に基づき、北海道や町村会などと相互連携を図り職責、職務、実務など、効果的・効率的な研修実施に努めています。

各種研修の実施状況（平成22年度）

職場研修	新任職員研修	11人
	ファシリティー研修 他	108人
	3年未満職員研修	15人
委託研修 (各研修機関での研修)	オホーツク町村会	23人
	北海道市町村職員研修センター	2人
	自治大学校・事後研修会	1人
派遣研修	専門職・一般職自己提案型研修等	4人

※人事評価制度については、国などの状況を踏まえて制度構築に向けて取り組んでいます。

12 職員の福祉及び利益の保護に関する状況

共済制度	職員にかかる共済制度は、病気や負傷、出産や死亡した場合などその相互救済を図るため地方公務員等共済組合法に基づき北海道市町村共済組合が実施主体となり事業を実施しています。
厚生制度	職員の厚生は、職員の福祉の増進と生活の安定を図るため、職員融和会として、給付事業（退職記念品）、体力増進事業（スポーツ振興）、研修事業（セミナー参加助成）等を実施しており、その経費を町が助成しています（平成22年度の助成は94万円となっています）。また、共済組合の事業を補完する（財）北海道市町村福祉協会による福利厚生事業が実施されています。
公務災害	職員が公務上受けた労働災害を公務災害といい、平成22年度においては、2件の発生となっています。
公平委員会	職員は、給与・勤務時間その他の勤務条件に関し、適応な措置がとられるよう要求することや、懲戒その他意に反する不利益な処分を受けたときは公平委員会に申立をすることができます。なお、22年度において申立はありませんでした。

13 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は実 質収支	職員給与費 B	総費用に占める職 員給与費比率 B/A	(参考) 21年度の総費用に占め る職員給与費比率
22年度	千円 292,453	千円 △ 47,384	千円 27,554	9.4%	% 12.1

区分	職員数 A	給 与 費			一人当たり給与費 B/A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当 計 B	
22年度	4	15,636	1,828	5,099	22,563 5,641

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (23年4月1日現在)

区 分	平 均 年 齢	基本給	平均月収額
斜 里 町	39.0 歳	300,803 円	429,917 円
団 体 平 均	45.6 歳	366,719 円	546,495 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

斜 里 町		(団体平均等)	
1人当たり平均支給額 (22年度)		1人当たり平均支給額 (22年度)	
1,275 千円		1,720 千円	
(22年度支給割合)		(22年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.35 月分	2.60 月分	1.35 月分
(1.5) 月分	(0.6) 月分	(1.45) 月分	(0.65) 月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	
・役職加算	無	・役職加算	無
・管理職加算	無	・管理職加算	無

イ 退職手当 (23年4月1日現在)

斜 里 町			(団体平均等)		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例加算措置 (2%~20%)		その他の加算措置	定年前早期退職特例加算措置 (2%~20%)	
(退職時特別昇給)	なし		(退職時特別昇給)		
1人当たり平均支給額	23,641 千円		1人当たり平均支給額	15,625 千円	

(注) 町の退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額である。

ウ 特殊勤務手当 (23年4月1日現在)

支給実績 (22年度決算)	0 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)	0 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合 (22年度)	0.0 %		
手当の種類 (手当数)	0		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
-	-	-	-

エ 時間外勤務手当

支給実績 (22年度決算)	785 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)	262 千円
支給実績 (21年度決算)	1,989 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (21年度決算)	663 千円

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

オ その他の手当 (23年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額 (22年度決算)
扶養手当	配偶者及び子等 月額5,000円～13,000円	同じ		242 千円	121,000 円
住居手当	・貸家月額12,000円を超える家賃を払っている場合支給 ・持家月額5,000円を支給	異なる	持家支給額 斜里町 5,000円 (国は無し)	270 千円	90,000 円
通勤手当	通勤距離が片道2キロメートル以上の職員 月額2,000円～24,500円	同じ		24 千円	24,000 円
管理職手当	部長職 月額44,000円 課長職 月額33,000円	異なる		396 千円	396,000 円
寒冷地手当	寒冷地域勤務者に対し11月～3月の5か月間支給 月額10,340円～26,380円	同じ		410 千円	102,500 円